

DXを地域 活性化へ応用

崇城大教授が
オンライン講演

デジタル技術によって変革を起こすデジタルトランスフォーメーション（DX）の地域活性化への応用を考えるシンポジウムが3日、オンラインで開かれた。崇城大（熊本市）教授の星合隆成さんが「DX時代の地域イノベーション」と題して基調講演した。

星合さんは、多くの仕事が人工知能（AI）に代替されると指摘される中で「AIが苦手とするイノベーションに活路を見いだすべきだ」と説明。地域にお

DXによる地域活性化を考えたシンポジウム



けるイノベーションの実現には、地域資源をつなげることが必要だとした。

起業支援などに取り組む一般社団法人ジョブラボぐんま（桐生市）が主催し、パネルディスカッションも行った。県庁32階の官民共創スペース「NETS UGEN（ネツゲン）」からライブ配信し、約90人が視聴した。